

時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

(乳幼児向け) 2022年 秋号



発行：時津町立時津図書館

家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく（家読）」です。難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



『あきぞらさんぽ』
えがしら みちこ/作
(講談社)

「かさかさ」と落ち葉の上を歩いていくと、「ぼとーんぼとーん」とどんぐりが落ちてきて、枯れ葉は「くるくる」と風に舞います。あきぞらさんぽ、たのしいな。

秋を感じながら、家族でおさんぽにでかけてみませんか？



『おつきさまなにみてる』
なかじま かおり/作
(岩崎書店)

まんまるおつきさまは、お空からなにをみてるの？

こいぬやことりをみているの。そして、すやすやねむる赤ちゃんも。

おやすみなさいの前、赤ちゃんへの読み聞かせにぴったりの絵本。



『おやおやおやつなにしてる?』
織田 道代/作 tupera tupera/絵
(鈴木出版)

ポップコーンは、ぽんぽん！じゃんけんぽん！

せんべいは、あっかんべー！

いろんなおやつが韻をふみながら出てくる、とっても楽しい絵本。

おやおや？つぎはなんのおやつかな？



『かげはどこ』
木坂 涼/作 辻 恵子/絵
(福音館書店)

かげふみおにごっこってしてる？おににじぶんのかげをふまれたらまけ。

こんどはじぶんがおにになって、だれのかげをおいかけるあそびだよ。

かげってふしぎ。ながくなったりみじかくなったり。どこまでもついてくる。ほら、あしもとをみてごらん。もうひとりのぼくみたいだ！



『あんまりすてきだったから』
くどう れいん/作 みやざき ひろかず/絵
(ほるぷ出版)

歌声が「あんまりすてきだったから」こんちゃんはその歌手にてがみをかきました。そのてがみが「あんまりすてきだったから」ゆうびんやさんも…。

「すてき」がどンドン広がって、心がぽかぽかしてきますよ。



『た』
田島 征三/作
(佼成出版社)

「た」はたんぼの「た」。

たがやして、たねをまいて、たくましく育っていくたんぼ。稲が育つ様子やそれを育てる人々を、「た」で始まる言葉とダイナミックで迫力ある絵で描いた、「たんぼ」のおはなし。